

大学便り



東北文化学園大学
学長 土屋 滋

私たちの大学は、「輝ける者を育む」を合言葉に、学生に向き合う教育を行っています。「輝ける者」の意味については、大学のホームページやパンフレットに詳しく掲載されていますので、是非ご覧ください。「TBGUプロジェクト」という全学共通科目には「輝ける者」という副題がついており、ベートーヴェン交響曲第9番合唱を歌います。新学期に配布されるTBGUハンドブック(学生便覧)にも、「輝ける者」というタイトルがついています。課外活動で際立った活躍をした卒業生に贈られる賞も、「輝ける者」賞です。名刺には「輝ける者を育む」と言う言葉が印刷されており、大学を説明するパワーポイントスライドの背景にも、この言葉がさりげなく組み込まれています。

一方、同窓会報には、「輝(KIRARI)」と言うタイトルがつけられています。「輝ける者」として卒業した本学の同窓生は、社会のさまざまな場所で「KIRARI!KIRARI!」と輝いています。大学と同窓会は、きっとこんな関係だと考えています。

私の願いの一つは、いつの日か、本学の同窓生名簿を発行することです。同窓生は、大学の財産です。教育の成果そのものです。「KIRARI!KIRARI!」と輝く同窓生名簿を私の書棚に、図書館に、そして皆さんにお届けできたら、恐らく創設時からの本学並びに同窓会の歴史が刻まれ、更なる成長への大きな一歩になるでしょう。

《お願い》 住所変更をお知らせください

本会では、同窓会報を始めとする各種ご案内を会員の皆様へお送りしております。ご住所、お名前の変更があった場合には、本会へお知らせください。変更の情報は、同窓会公式WEBサイトから、もしくは郵送にてご連絡をお願い致します。

【問い合わせ先】

東北文化学園大学同窓会事務局
仙台市青葉区国見6丁目45-1
大学事務局教務部学生課内
電話 022-233-6194

※お預かりした個人情報は同窓会活動のみ
に利用し、名簿の販売・頒布は行いません。

携帯サイトはこちら▶



同窓会費の納入について

本会は、会員の皆様からの会費により運営
を行っております。平成25年度以前の会費
は、入学時に入会金として5,000円、卒業時
に終身会費10,000円の納入をお願いして
おります。また平成26年度からは入学時に
会費として15,000円の納入をお願いして
おります。また会費を納入いただけない
場合は、会費の納入をお願いいたします。

【会費振込先】

仙台銀行本店営業部
普通預金 4755741
トウホクブシ カ ガクエンダイガクドウソウカイ
東北文化学園大学同窓会

※お振込の際は、学籍番号とお名前を必ずご入力くださ
い。学籍番号は同窓会報送付封筒に印字しております。
※恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

同窓会WEBサイトを ご活用ください

平成22年より、同窓会公式WEBサイ
トでは、同窓生に関わる情報や学園の
イベントなどを皆様にお届けしていま
す。

また、会員同士が自由に情報を発信し
交流ができる、「同窓生の輪」というコ
ンテンツもあります。

短大、大学の卒業生が未永く、縦・横の
繋がりを維持し支え合っていくために
作成されました。

皆さんどんどん活用
してくださいね!!

携帯サイトはこちら▶



あとがきにかえて

「遠く離れてもつながるご縁」

医療福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 平成15年3月卒業
副会長 豊原 亮子

同窓会報「輝」、記念すべき10号となりました。
同窓会の活動、卒業後も活躍している方の紹介、大学の現
在の様子など皆様に懐かしいな、TBGUっていいところだっ
たなと思っただけのきっかけになるよう事務局一同編集
してまいりました同窓会報ですが、いかがでしょうか。

同窓会では会報以外でもFacebookも活用していますが、先
日仕事関係の人(名古屋)と大学同期の友人(長崎)で繋がりが
できることがありました。私は東京在住ですし、自分の物理的

な行動範囲ではできなかった繋がりで。
個人情報保護の面からFacebookはちょっと…という方もい
ると思いますが、SNSを有効活用して生まれる人とのご縁もい
いものだなと感じる今日この頃です。

同窓会Facebookでもお知らせだけでなく、ちょっと楽しいお
話などもできていたらいいなと思っております。とりあえず、次
回理事会の時に会長の素顔などボロリ…とできるでしょうか?
ご期待ください。



輝

KIRARI

TBG 同窓会報

TBG Alumni Association News

vol. 10 [2016.9.1]

Contents

会長挨拶・学生部長挨拶	2・3
Eサボの取り組み特集	2・3
同窓会事務局紹介	3
同窓会「のぼり旗」紹介	3
平成27年度事業報告・決算報告	4
平成28年度事業計画・収支予算	4
ホームカミングデーのご案内	5
同窓会総会のお知らせ	5
文化学園祭のお知らせ	5
平成28年3月卒 同窓会新役員	5
大学近況報告	6
恩師から・サークル紹介	6
輝人	7
大学便り	8
あとがきにかえて	8



救助犬サークル「WorkingDog's」訓練のひとつ

会長挨拶



同窓会会長
堀江 裕宗
平成15年3月 科学技術学部
応用情報工学科卒

今回、会報第10号という事で本会が再始動し、2009年の第1号発行から皆さんへ母校の近況や会の活動状況をお伝えするの10回目となりました。

第1号は母校の歩みを振り返ることで新しい一歩を踏み出し、これから皆さんと共に歩んで行くという思いがありました。また第4号から会報名が「輝-キラリ-」に決まり、会報という堅苦しいイメージからの脱却を図ったりもしました。

離れて久しいとは思いますが、常に発展をしていく母校を身近に感じてもらうべく、これからも発信し続けていきたいとスタッフ一同思っております。バックナンバーはHPから見る事が出来ますのでぜひ見て下さい。

さて、本年は3年に一度の総会の年になります。直に皆さんと意見交換できる場でもありますので、ぜひ皆さんの声を聞かせて下さい。本会の発展は皆さんが参加してこそ意味があるものになります。詳しくはこの号に案内がありますのでご覧いただければと思います。

正会員数 7,898人(H28.7現在)

学生部長挨拶



学生部長
同窓会幹事
須藤 諭

同窓会の皆様、大変にお世話になっております。さて、学生部長は、学友会会則により学友会会長に指名されております。今回は学友会近況として、今年度の会則改正等についてご報告させていただきます。

学友会は平成11年4月の開学に合わせて、在学生(正会員)の課外活動を支える組織として発足しました。各サークル・同好会の課外活動の他、文化学園祭実行委員会、学生リーダー会、卒業アルバム作成委員会、スポーツ大会実行委員会など、本会の各組織で活躍する学生も多数おり、近年ではそれらの活動に「伝統」を感じさせる場面も増えてきました。

一方、運営組織を規定する会則は、大きな改正はなされず今日に至ってました。学友会は学生を正会員、教職員を特別会員とする親睦団体ですが、本会役員12名のうち正会員は1名、最高議決機関である「運営協議会」は構成員20名のうち正会員は11名との規定でした。黎明期において

は領けるところもありますが、今日では特別会員の割合が大きすぎる感があります。

学友会が成長してきた現在、正会員の参加度を高めつつ、学友会のより一層の活性化を図る時期が来たと考えられましたので、7月6日に開催された平成28年度学友会運営協議会において、会長から会則改正を提案させていただき、改正案は満場一致で認められました。具体的には、運営協議会の構成員に各学科専攻代表者を加えて正会員15名に増員し、学友会役員には学友会各機関の代表者を6人増員し、正会員の参加度を高めることにしました。

充実期に入ってきた学友会の発展と正会員の活動の一層の活性化を、また、新役員となった学生諸君には、本学のリーダーとしての活躍を期待しているところです。

Eサポの取り組み特集!

『モヤモヤ感』体験してみませんか? ~OB・OGが参加できるEサポセミナーで待ってます~

教育支援センター(Eサポ)は、図書館と連携させた学修スペース“ラーニングコモンズ”として、2015年4月に1号館1階より地階の広いスペース(旧学生ホール)に移転、新たにロゴ(下図参照)も作成され、リニューアルオープンしました。従来の個人の学修だけでなく、小人数から大人数のグループで知識を共有し磨きあげるための機能的な環境を整えたのが新しいEサポの特徴です。新しいEサポでは、個別学修のための“ソファスペース”や“PCスペース”小人数のグループでプロジェクトを用いて学習を進めるための“ボックススペース”、さらには複数のゼミや学部を超えた学生・教職員達が集い開催される大人数のセミナーのための“Eスペース”などが完備されています。

またEサポは、学ぶ空間の提供だけでなく、学ぶ機会の提供も行っています。学修に困難が生じた場合には個別相談を行えるシステムも整えました。またグローバル時代に生きる学生に対して、語学研修を支援するグローバル・エデュケーション・プロジェクト(GEP)の拠点ともなっています。さらには本学で学んだ学生の未来像でもある輝けるものを育む教養セミナー(Eサポセミナー)を毎月開催しています。その中には、本学の近隣の歴史を歩きながら学ぶ『足元の郷土学』、社会の動向を知るための『新聞カフェ』、生活習慣を見直す『朝カフェ』などユニークなイベントを盛りだくさん企画しています。この中には、本学のOB・OGも参加して頂けるセミナーもあります。今回はその一つである『てつがくカフェ(Café philosophique)』について紹介します。『てつがくカフェ』は、我々にとって身近なことに焦点をあて、その本質を探ろうとするものです。家族や信頼とは何か、答えがありそうで、それが見つけづらいテーマに対し、一人ではなく、Eサポに集まったたくさんの学生や教職員が、ファシリテーターのもと、対等な立場で熱く語り合います。『てつがくカフェ』の魅力の一つは、自分自身と向かい合えることだと言われます。他の参加者との対話のなかで、「自分はこんなことを考えていたのか!」と改めて自分自身の思考に気づくことだけでなく、これまで考えたことのない新たな視点の発見や、自分の考えの正当性を改めて考え直すきっかけが生まれます。明確な答えが見つからないこともしばしばありますが、この心地よい「モヤモヤ感」が『てつがくカフェ』の醍醐味といえます!

Eサポの活動内容は本学のホームページに随時アップしておりますので是非ご覧ください。そして時には、本学を訪れ、イベントに参加していただきながら、学生時代を思い返し、学生の成長を温かく見守ってほしいと思います。

教育支援センター センター長 **古林 俊晃**



セミナーの様子はfacebookにてチェック!



インフォメーションボード



えほんのセミナー



社会を見る目を養おう



てつがくカフェ



朝カフェ



事前説明会



AU研修



報告会

同窓会事務局紹介

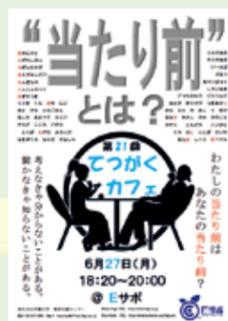
2014年4月より同窓会の事務を担当させていただいております寺久保と申します。同窓会事務局は、1号館1階、学生課内にあります。お問い合わせや連絡は、電話、メールにて受付しておりますが、窓口にお越しいただければ直接お話をさせていただきます。どうぞお気軽にお越し下さい。今後、皆さんの声を反映させながら、会員相互の情報交換、連絡等に幅広く活用し、同窓会の活動の一環として、会員皆さんにより多くの情報を提供していきたいと思っています。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



寺久保

同窓会「のぼり旗」紹介

同窓会報第9号でお知らせしました同窓会旗と同じデザインの「のぼり旗」の製作に取り組み、写真の旗(1800×600mm)が完成しました。今後、ホームカミングデー等色々な活動で利用して行きます。



平成27年度 東北文化学園大学同窓会事業報告

1. 会報の発行、ホームページ等の管理運営、会員名簿の作成

- (1) 同窓会報発行
同窓会報第9号 平成27年9月発行
- (2) 公式Webサイト管理運営
事務局とWebサイトプロジェクトチームにより随時データ・掲載内容を更新
- (3) 会員名簿の整理

2. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 会費徴収業務
平成27年4月 平成27年度入学生(17期生)対象
平成27年9月 平成27年3月卒業生(13期生)未納者
平成28年3月 平成28年3月卒業生(14期生)対象
- (2) 会員サービス業務
入学生向け学園歌CD配付、卒業生向け記念品(ボールペン)制作・配付
- (3) ホームカミングデー開催(平成27年10月17、18日)
有志企画 キラレンジャーサロン「クッキーカフェ」実施
- (4) 同窓会「旗」作製
- (5) 同窓会PC・モニター買い替え・データ保存
- (6) 学位記メッセージボード設置

3. 会議

- (1) 理事会 第27回(平成27年5月30日)、第28回(平成28年2月27日)
- (2) 代表者会 平成27年10月18日(日)

平成28年度 東北文化学園大学同窓会事業計画

1. 機関誌の発刊、ホームページ等の管理運営

- (1) 同窓会報発行(年1回)
- (2) 公式Webサイト管理運営

2. 会員名簿の整備及び管理

- (1) 会員名簿の整備
- (2) 会員住所判明調査方法の検討

3. 講演会、懇談会等の開催

- (1) ホームカミングデー(文化学園祭出展など)
- (2) 他団体主催会合支援
(例: 大学イベントへの後援等)

4. 「進路・就職支援」及び「正課外活動支援」等、在学生に対する支援

5. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 会費徴収業務(入学者・卒業生・既卒者 督促含む)
- (2) 会員サービス業務(学園歌DVD制作・卒業記念品制作等)
- (3) 広報宣伝
キャラクターの活用 同窓会「のぼり旗」制作
- (4) 国際交流支援
- (5) 新入生へのエコバック配布
- (6) 式典祝花(入学式・卒業式)
- (7) 基金の有効活用(キャンパス整備)

6. 会議

- (1) 理事会
- (2) 代表者会
- (3) 総会(3年に1回開催)

7. 中期的重点目標再構築



●平成27年度 東北文化学園大学同窓会 決算報告

第13期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	摘要
入会金収入	0	50,000	平成27年度卒業生等
終身会費収入	1,000,000	1,390,000	平成27年度卒業生
会費収入	6,750,000	6,135,000	平成27年度入学生
預金利息収入	1,500	2,053	
前期繰越金	2,755,428	2,755,428	
収入合計	10,506,928	10,332,481	

支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
会報作成費	1,100,000	979,333	会報作成、会報送付郵送料
会員名簿作成費	20,000	8,819	正会員登録カード作成費
会費徴収業務費	100,000	57,490	同窓会入会案内郵送料等
会員サービス事業費	700,000	643,648	卒業記念品作成費等
webサイト運営費	386,000	385,128	同窓会webサイトサーバー保守費
文化学園祭出展事業費	500,000	292,032	ホームカミングデー関係材料費等
式典祝花	60,000	57,800	学位記授与式・入学式祝花
同窓会旗作成費	60,000	45,360	
国際交流支援費	300,000	174,960	
広告宣伝費	100,000	0	同窓会キャラクター関係
通信費(会議費)	20,000	12,798	理事会欠席者議事要録、代表者会議案内郵送料
会場費(会議費)	100,000	0	
交通費(会議費)	250,000	107,000	理事会、代表者会出席者交通費等
雑費(会議費)	10,000	2,858	理事会お茶菓子等
監査費	219,000	220,320	監査法人監査費
消耗品	18,000	16,739	事務用品費
通信運搬費	10,000	3,075	書類郵送料
印刷費	20,000	0	
旅費交通費	5,000	0	
人材派遣費	1,852,316	1,534,107	派遣社員委託費
雑費	10,000	200	
振込手数料	21,000	21,060	振込手数料
その他事務費	247,684	247,684	同窓会PC、モニター買換え、データ保存
同窓会引当特定預金への支出	2,000,000	2,000,000	
予備費	2,397,928		
次年度繰越金		3,522,070	
支出合計	10,506,928	10,332,481	

同窓会引当特定預金

同窓会引当特定預金	残高(単位:円)
同窓会引当特定預金	2,000,000
残高合計(2016.3.31)	7,000,000

●平成28年度 東北文化学園大学同窓会収支予算書

第14期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	28年度予算額	27年度予算額	増減	摘要
A 会費収入	7,750,000	7,750,000	0	
1 入会金	0	0	0	平成25年度以前の入学生適用(入会金) 1人¥5,000
2 終身会費	1,000,000	1,000,000	0	平成28年度卒業生適用(終身会費) 1人¥10,000
3 会費	6,750,000	6,750,000	0	平成28年度入学生適用 1人¥15,000
B その他の収入	1,000	1,500	-500	
1 預金利息	1,000	1,500	-500	
2 その他	0	0	0	
当期収入計	7,751,000	7,751,500	-500	
C 前年度繰越金	※3,518,482	2,755,428		
収入計	11,269,482	10,506,928	762,554	

※平成28年2月27日開催の理事会承認金額(決算前見込み額)

支出の部

科目	28年度予算額	27年度予算額	増減	摘要
A 事業費支出	3,535,000	3,326,000	209,000	
1 会報作成費	1,200,000	1,100,000	100,000	年1回発行
2 Webサイト管理運営費	390,000	386,000	4,000	
3 会員名簿整備及び管理費	35,000	20,000	15,000	正会員登録カード・保護シール作成費
4 国際交流支援費	300,000	300,000	0	国際交流支援として
5 ホームカミングデー事業費	500,000	500,000	0	
6 式典祝花	60,000	60,000	0	学位記授与式、入学式等に同窓会より祝花
7 同窓会旗作成費	100,000	60,000	40,000	
8 会費徴収業務費	100,000	100,000	0	送付代、郵送ラベル代等
9 会員サービス事業費	750,000	700,000	50,000	DVD、名入れボールペン、エコバック作成等
10 広告宣伝費	100,000	100,000	0	
B 会議費支出	601,000	599,000	2,000	
1 通信費	20,000	20,000	0	
2 会場費	100,000	100,000	0	
3 交通費	250,000	250,000	0	学外役員交通費
4 雑費	10,000	10,000	0	会議飲み物代等
5 監査費	221,000	219,000	2,000	監査法人
C 事務費支出	2,150,000	2,184,000	-34,000	
1 消耗品費	24,000	18,000	6,000	
2 通信・運搬費	10,000	10,000	0	
3 印刷費	20,000	20,000	0	長3封筒
4 旅費・交通費	5,000	5,000	0	学外打ち合わせの際の交通費等
5 人材派遣費	1,900,000	1,852,316	47,684	派遣社員委託費
6 雑費	20,000	10,000	10,000	
7 振込手数料	21,000	21,000	0	
8 その他事務費	150,000	247,684	-97,684	図書館整理用収納購入代として
D 同窓会引当特定預金への支出	3,000,000	2,000,000	1,000,000	
当期支出計	9,286,000	8,109,000	1,177,000	
E 予備費	1,983,482	2,397,928		
支出合計	11,269,482	10,506,928	762,554	

ホームカミングデーのご案内

キラレンジャーサロン「クッキーカフェ」

学園祭の1日目、10月22日(土)、5号館前テントにて、皆様がつるぎるペースをご用意しております。
昨年大好評でした美味しいクッキーと飲み物(無料)をご用意しております。ご友人、ご家族をお誘い合わせの上、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。同窓会幹事によるバルーンアートもお楽しみいただけます。



昨年同様、本学卒業生 手話シンガーの水戸真奈美さんもゲストとして参加予定です

日時:平成28年10月22日(土)
場所:東北文化学園大学キャンパス 5号館前(屋外)
雨天時5号館2階 第2会議室



東北文化学園大学同窓会『総会』開催のお知らせ

同窓会総会を下記の通り開催いたします。
今回の総会は、過年度の事業報告のほか、今年度事業計画、同窓会役員選出、同窓会中期的重点目標の再構築、キャンパス整備事業等、同窓会に関する重要事項が審議されます。是非会員の皆様のお出席をお願いいたします。

今回の同窓会総会は、文化学園祭と同日、学園内で開催いたします。1年に一度、盛り上がりを見せる文化学園祭と併せて、是非大学にお越しください。

会長 堀江 裕宗

日時:平成28年10月23日(日)13時より
場所:東北文化学園大学 5号館(本部棟)2階第2会議室
内容:事業報告、事業計画、役員選出、同窓会中期的重点目標の再構築、キャンパス整備事業等について



文化学園祭 2016開催のお知らせ

テーマ 「ことだま ～あなたに届け、この思い～」
開催日:平成28年10月22日(土)、23日(日)

今年も開催します
平成28年10月23日(日)
TBGダンスイベント RELATIONS



今年の文化学園祭2016は、テーマを「ことだま～あなたに届け、この思い」とし、10月22日(土)と23日(日)の2日間で開催されます。今回のテーマには、「私たちが普段お世話になっている家族や教職員、地域の方々など、日頃恥ずかしくて伝えづらい、感謝の気持ちなどを届けられる学園祭にしていきたい。」という思いを込めました。現在、実行委員のメンバーはこの方針に基づいて、日々活動しています。

学園祭の目玉企画としては、今年も「TBG屋台コンテスト」と題した企画を実施する予定です。この企画は、学生達によるそれぞれのオリジナル屋台が、来場者からの人気投票1位を狙って、凌ぎを削ります。学園祭開催中、獲得票数が多かった上位3団体は最終日に表彰されることもあり、例年以上に活気ある屋台を目にすることが出来ると思います。ご来場の際は、ぜひ足を運んで、お気に入りの屋台を見つけてみてはいかがでしょうか?

その他にも、特設ステージでは、各種ゲーム企画、音楽アーティストやお笑い芸人を呼んでのライブ、サークル発表、毎年恒例のビンゴ大会も実施します。校内装飾の制作にも例年以上に力を入れて取組んでおり、ファイナーでは盛大に花火を打ち上げ、華やかに締めくくる予定です。

来場者の方々に楽しんで貰えるために、実行委員一同、精一杯準備していますので、何卒「文化学園祭2016」をよろしくお祈りします!みなさまに遊びに来て頂けるのを楽しみにお待ちしております。

文化学園祭実行委員長 折田 優太
(医療福祉学部 保健福祉学科3年)



平成28年3月卒 同窓会新役員

平成28年4月より、東北文化学園大学同窓会活動を支える卒業生の皆様の代表(幹事)、全17名の方々です。皆様よろしくお祈りします

学科	専攻	氏名
リハビリテーション	理学療法	吉田 高幸
リハビリテーション	作業療法	山田 ひかり
リハビリテーション	作業療法	穴戸 彩夏
リハビリテーション	作業療法	太田 智穂
リハビリテーション	言語聴覚	佐藤 清華
リハビリテーション	視覚機能	近藤 ちひろ
リハビリテーション	視覚機能	齋藤 智穂
リハビリテーション	視覚機能	松尾 紀菜

学科	専攻	氏名
看護		安食 拓朗
看護		大森 俊
保健福祉	保健福祉	鈴木 美幸
保健福祉	生活福祉	篠原 優貴
総合政策		高橋 幸希
総合政策		米本 一貴
知能情報システム		佐藤 韻
知能情報システム		千葉 勇也
人間環境デザイン		沼田 寿明

大学近況報告



入学式(同窓会からの祝花)
2016.4.5



朝食会(学食)
2016.4.6・8



学外研修(秋保 佐勤)
2016.4.8・9



医療福祉フォーラム
(江陽グランドホテル)
2016.5.22



感謝の日
2016.6.25



丘のうえ音楽会(学食)
2016.7.11

恩師から



SNS時代のコミュニケーション

元 総合政策学部教授
現 東北文化学園大学
特任教授
志賀野 桂一

ゼミ生を集めて初のミーティングのときである。私のゼミ運営のモットーとして、連絡係や渉外など役目を決めて学外研修に備えることにしていた。連絡係を決めようとした矢先、「先生!ライン入ってますか?」と尋ねられた。ラインLINE とは、当時流行りだしたSNSで私は不覚にも知らなかった。「みんなラインに入っているのだから、ゼミの連絡も、先生がつぶやけばいいんですよ。」という。また、ラインでのコミュニケーションで相手特定しても、仲間全員でもできる優れたもののツールであるのだという。その場でアプリを入れようとしたが、パスワードが不明で不調に終わった。その後、成りすまし的事件などを聴くにつけて不安もあり、このSNSにはお世話にならずに今に至っている。

それにしても現代社会、メールをはじめ、ソーシャルネットワークにお世話にならないで仕事や生活は成り立たないといえるまで情報化社会にどっぷりと浸かっている私たちである。

またビジネス界でもマーケティング方法の変化が起こっており、総体としてマス・マーケティングの終焉と、パーソナルなマーケティングの到来を予兆する証言が溢れている。TV番組の広告は、かつてほど有力ではなく、公式HPも若い世代ほど見ていない実態が報告されている。そうしたことからSNSがますます重視される傾向にあることは間違いないようである。しかしそのツールに関して興味深い差異があるという。つまり、マーケティングツールとしてみた場合、ツイッターは「速報性」、YouTubeは「業績重視」、Facebookが「関係の深さ」などに有効で、それぞれの特性を見極めた使い方が必要であることが知られてきた。とくに35歳を境に情報の受発信に関して世代間ギャップがあり、その違いを読み込んだSNSプロモーションの必要性などが語られている。情報の受発信の多様性は相対進んでいる。

コミュニケーション論を教えている私の立場からは、あの時、ゼミ生の勤めるがままに積極的にLINEに入ったのは良かったのか、あるいは対人コミュニケーション重視で、なるべく電子媒体に頼らない方が良かったのか、いまだに揺れ動く今日この頃である。

注:LINEはNAVERが提供する全世界で5500万人以上のユーザーが利用しているサービス。無料通話、トーク(メール)、スタンプなどの機能を持ち、日本でも若年層を中心にユーザー数が増えている。

大学キャラクター 決定

平成21年3月 医療福祉学部保健福祉学科保健福祉専攻卒業
東北文化学園大学 庶務部庶務課勤務 **土谷 絵里子**

今回卒業生枠で応募させていただきました。7期卒業生の土谷です。たくさんの人に大学を知っていただけるきっかけになればと願いを込めたキャラクターです。可愛がって頂ければ幸いです。



熊本地震募金活動

熊本地震災害支援に対し、児童サークル(代表:保健福祉学科3年阿部里美さん)による募金活動を実施され、同窓会理事会でも、堀江会長をはじめ理事の方々に募金の協力をいただきました。



会長・副会長も募金しました

オープンキャンパス

今年度もオープンキャンパスが6月から始まりました。年間8回開催されます。学生のオープンキャンパススタッフも大活躍です。
開催日 6/19(日),7/10(日),7/24(日),8/7(日),9/4(日),10/22(土),23(日) 3/19(日)



サークル「Working Dog's」

総合政策学部 総合政策学科3年 **桑折 剣**

私たちのサークルは、「Working Dog's」と言います。「Working Dog's」とは、働く犬のことです。例えば警察犬や盲導犬、介助犬、聴導犬、災害救助犬、モンキードッグなどです。

私たちのサークルでは、災害救助犬とモンキードッグに焦点を当てて活動しています。災害救助犬とは、災害発生時に瓦礫に埋もれた人や、山野で行方不明になった人などを浮遊臭で探し、救助を手助けする犬のことです。モンキードッグとは、山から下りてきて田畑などの作物を荒らすサルを吠えて追いかけて、奥山へ追い戻す犬のことです。

文化祭などでデモンストレーションを行って災害救助犬の活動を紹介したり、ボランティアで認定審査会へヘルパーとして参加するなど、働く犬の認知度を高め、育成していくことを目標に活動しています。



輝人



貴重な経験ができることに感謝

医療福祉学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 平成20年3月卒業
二木 理恵



作業療法士9年目、中堅職員として様々な仕事を任されるようになりました。職場である老健施設の仕事だけではなく、全国区の仕事に携わることも増えてきました。

職能団体である日本作業療法士協会や、私の勤める事業所の団体である全国デイ・ケア協会等で、全国で活躍されている先生方と仕事をさせて頂き、リハビリテーションや介護保険の最前線の取り組みを知ることができ、とても刺激となっています。同時に良い意味でのストレスになり、自分の職場でもより頑張ろうという気持ちになります。また研修会等で講師として教える側に立つことも増え、人に伝える難しさや面白さを感じています。

このような貴重な経験ができるのは、職場の上司や先輩方が機会を与えてくださっているからと日々感謝です。今度は自分自身が全国の最前線に立ち、先駆的な取り組みをしていく存在になれるよう、より一層頑張りたいと思います。

指導する立場となり考えること

医療福祉学部 リハビリテーション学科
視覚機能学専攻 平成28年3月卒業
鈴木 静奈美



本学の医療福祉学部を卒業し、視能訓練士として東京の大学病院へと就職しました。最初は分からないことばかりでひとつひとつの動作に時間がかかり、患者様に負担をかけてしまうことが多くありました。その度、自分の力不足を実感し、この仕事は向いていないのではないかと感じていましたが、先輩方から丁寧な指導をいただき少しずつ仕事にも慣れてきました。1年半が経った今、指導者として実習生の指導にも携わることができています。

人へ教えるということは教わることよりも難しく、どのようにしたら内容を理解し、出来るようになってもらえるのかということが私の課題です。それには自分が正しい知識を持っているということが前提であるため、就職した今でも日々勉強の毎日です。

まだまだ課題は多く、指導を通して自分自身も学ぶことがたくさんあります。学生の皆様には向上心を忘れず、学ぶということに貪欲であって欲しいです。

仕事×音楽を全力で

医療福祉学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻 平成25年3月卒業
相沢 亮太



僕は今、介護老人福祉施設で理学療法士をしながら「UNO」という3人組の音楽ユニットに所属し、音楽活動に励んでいます。大学時代、友人と一緒にオリジナルの曲を作った時、感動と楽しさを覚えたことがきっかけで音楽を始めました。気付けば勉強と両立しながら、精力的に活動していました。

卒業後の進路に悩んでいる時、恩師からの「二足の草鞋を履ける人は、両方とも中途半端にできないという想いの強い人。君になら出来るよ。」という一言が胸に刺まりました。僕はその日から、仕事と音楽を全力で打ち込む決心ができました。

その甲斐もあり、今ではラジオ番組を持たせてもらったり、県外遠征や主催イベントなど、沢山の人の前で歌わせていただく機会が多くなりました。これからも理学療法士として、歌い手として、皆さんの「背中を押せる」そんな人になれるように精進していきたいと思っています。

仲間がいること

医療福祉学部 リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻 平成27年3月卒業
佐藤 清華



私は仙台市の病院に言語聴覚士として勤めています。まだ入職して半年も経っておらず、慣れない事や分からない事もたくさんあります。仕事をしていて「本当にこれでいいのかな?」「患者さんのためになっているのだろうか?」「この仕事は私に向いているのだろうか?」など、悩みや不安は考えても考えても底を尽きません。そんな中でも私が頑張っていけるのは、言語聴覚士を目指して共に頑張った仲間や職場で出会った同期がいるからです。いざ話してみると、同じようなことで悩んでいたりが共感できることが多く、「みんな同じなんだなあ」と感じます。同期と仕事終わりにご飯に行ったり、離れた場所にいる友人と連絡を取り合い、元気をもらっています。1人じゃないと思うことで今の私は頑張ることが出来ます。これから先、まだまだ辛いことや壁にぶつかるとはありますが、仲間がいることを忘れずに頑張っていきたいです。

14年間の大学生活

科学技術学部 環境計画工学科 平成17年3月卒業
一條 佑介

科学技術学部 建築環境学科 講師
東北文化学園大学同窓会 理事



私は、大学卒業後に本学大学院に進学し、野崎先生のご指導の下、数年にわたって空気清浄技術や環境技術の研究をさせて頂き、博士(生活環境情報)を取得させて頂きました。また、大学院在学中に住環境デザイン学科(現:建築環境学科)の教員として着任し、教育・研究活動等に忙しく充実した毎日を過ごしています。

また、ゼミ活動でも厳しい中たくさん楽しい思い出ができました。14年の在籍です。数十名のOB、OGがおり、研究発表や合宿において、北は北海道、南は沖縄県に出かけたこと等、たくさんの写真や映像をたまに見ながら懐かし思い出しています。

さらに、手前味噌で恐縮ですが、この度『第25回日本臨床環境医学会学術集会』にて、私の論文に対して研究奨励賞を拝受することができました。関係する先生方に深甚なる感謝の意を表します。本受賞を励みに、今後もより一層、教育・研究活動に邁進していきます。

『時間』という財産

医療福祉学部 保健福祉学科 保健福祉専攻 平成20年3月卒業
安藤 康介



セントラルスポーツ株式会社
セントラルフィットネスクラブ仙台店 副店長

社会福祉士を目指していた私が、学生時代に初めてしたアルバイトが就職先になるとは想像もしていませんでしたが、私がセントラルスポーツという会社に入社して8年が経過し、福島~札幌~仙台と計4店舗と渡り、現在、私は副店長という立場で運動指導の他に、クラブ運営・施設管理・プログラム管理・人材管理・北日本地区を統括するプロジェクトリーダーと多岐に渡って業務をしております。どの職種もそうですが、この仕事は特に「人とのつながり」を強く感じることができ、かつ出逢った方の人生をも変えるきっかけを与える仕事であると感じております。

昨年は、当社ホリルマラソンツアーの運営スタッフとして選抜され、全国のセントラルスポーツメンバーと共に、「感動プロジェクト」として現地で業務を遂行し、多くのお客様の感動をサポートさせて頂きました。

今後の目標は店舗責任者(店長)となり、今以上に皆様は勿論、一緒に働くスタッフにも「楽しい」時間を過ごして頂けるフィットネスクラブを運営していく事です。すべての人に平等に与えられているものは「時間」です。その大切な「時間」という財産を私は「フィットネス」という分野で人々を楽しませ、幸せな人生を送るきっかけのサポートをしていきます。